

武蔵野市学習者用コンピュータ通信

第10号

発行
武蔵野市教育委員会指導課
令和3年9月

市ホームページにも、これまでのバックナンバーを含め掲載しております。

「学習者用コンピュータ通信」を検索していただくか、QRコードでアクセスしてください。



学習者用コンピュータ通信

検索



オンラインを活用した家庭学習の支援を行っています

学級閉鎖等の臨時休業が発生した場合は、学習者用コンピュータを活用した、いわゆる「オンライン朝の会」を実施するとともに、学習者用コンピュータの活用を含め、家庭学習の支援を行います。また、臨時休業中のオンラインによる同時双方向の学びの支援については、できることから進めてまいります。

感染予防のため登校できない児童・生徒については欠席とはいたしません。学習者用コンピュータを活用して、オンライン上で面談し健康状態や学習状況を把握するとともに、学校の学習内容や課題を伝えるなど個別に対応いたします。またオンラインを通じて授業に参加するなどについては、学校と相談いただきたいと存じます。

音声入力の方法を紹介します

前々号で、キーボード入力と手書き入力について紹介しましたが、今号では音声入力の方法を紹介します。

【Google 検索での音声入力】

- ① 検索キーワードを入力する場所のマイクアイコンをタップする。
- ② マイクの利用を許可し、「お話しください」と表示されたら、画面に向かって話す。



【Google ドキュメントやスプレッドシートでの音声入力】

- ① 「ツール」から「音声入力」を選択する。
- ② 「クリックして話します」と表示されたら、アイコンをタップして、画面に向かって話す。



実際の活用事例を紹介します

学習者用コンピュータが配付されてから、各校で学習者用コンピュータを活用した授業の実践と研究が進められています。

ここでは、実際の活用事例の一部を紹介します。

【小学校5年生・算数の授業】

単元：合同な三角形

ねらい：三角形の構成要素に着目して、合同な三角形のかき方を理解する。

○自分で書いたノート・プリントを撮影し、Jamboardで共有する。



○それぞれが考えた「三角形のかき方」を、Jamboard上でアンダーラインを引いたり付箋をつけたりしながら、他の児童に説明する。

① 底辺BCを6cmかく

② 35°はかり、5.5cmかく

③ Cと土まわりの5.5cmの角をつなぐ